

環境活動レポート

活動期間：2015年10月1日～2016年9月30日

● 環境方針

株式会社ヤブシタは地球環境に優しく、調和のとれた活動を社員全員で継続的かつ効率的に行い、先進的な製品の開発・販売及び施工を通して、環境負荷低減に努め、循環型社会の構築に貢献する企業を目指します。

● 行動指針

1. 製品及び工事施工は環境負荷低減を図り、省資源・省エネルギー・フロンガスの適正管理並びに廃棄物の削減、分別及びリサイクルの促進に取り組みます。
2. グリーン購入の推進及び有害物質の少ない材料の購入を推進します。
3. お客様に対し、省エネルギー製品・システムの提案活動を積極的に行います。
4. これからの活動を目録管理制度に導入し、継続的に取り組みます。
5. 環境に関連する法規・条例等を遵守します。

制定 2015年4月1日
代表取締役 森 忠裕

● 事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者

事業所名：株式会社ヤブシタ、ヤブシタ総合設計株式会社、ヤブシタエネシス株式会社
代表者名：代表取締役 森 忠裕

〒060-0006
北海道札幌市中央区北6条西23丁目1-12
TEL：011-624-0021 FAX：011-624-0024
URL：<http://www.yabushita-kikai.co.jp/>

2. 環境管理責任者及び担当

環境管理責任者 岡田 宏
事務局担当者 小野 由美子

3. 事業内容

冷熱関連部材・太陽光発電関連部材の設計・製造・販売
北海道内のみ施工工事展開

4. 事業規模

2015年10月1日～2016年9月30日
年商：25億7,492万円
従業員：61名（2016年9月30日現在）

5. 対象事業所

株式会社ヤブシタ、ヤブシタ総合設計株式会社、ヤブシタエネシス株式会社

	〒060-0006	札幌市中央区北6条西23丁目1-12
札幌工場	〒069-0804	江別市野幌美幸町30-2
函館営業所	〒040-0065	函館市豊川町20-5
東京営業所	〒108-0014	東京都港区芝4丁目4-13 テラオカビル7F

6. 環境活動の取組み記録

- ① 10月2日 前年度実績把握に基づき担当メンバーで目標設定
10月2日 全社方針発表大会で前期活動のまとめと2016年度目標発表
- ② 部門毎に月一回の会議
- ③ 担当者会議で進捗確認・課題整理・対策打合わせ(12月・3月・6月・9月)
- ④ 教育訓練 10月2日 目標説明会
- ⑤ 10月19日 結果分析 環境活動報告書作成
- ⑥ 代表者による全体評価と見直し
次期へ向けて方針確認
- ⑦ 10月19日に2017年度の実施体制(担当メンバー)決定
- ⑧ 火災訓練実施 5月25日

7. 中期 環境目標

項目	単位	2014年実績	2015年目標	2016年目標	2017年目標
二酸化炭素排出量	kg-co2	468,461	463,770	459,130	454,530
電力使用量削減	kwh	350,912	347,400	343,900	340,460
液化石油ガス使用量	m ³	761.2	753	745	737
灯油使用量	L	3,744.1	3,700	3,660	3,620
ガソリン・軽油使用量	L	41,830.4	41,410	40,990	40,580
一般廃棄物排出量	t	1.6	1.58	1.56	1.54
コピー用紙使用量	kg	1,782	1,760	1,740	1,720
水使用量	m ³	550	544	538	532
環境配慮商品の販売	台	36,229	36,950	37,690	38,450
グリーン購入品 18品	品目数	15	18	18	18

8. 環境目標と実績

項目	単位	2015年実績	2016年目標	2016年実績	前期比増減
二酸化炭素排出量	kg-co2	425,358	459,130	322,355	75.8%
電力使用量削減	kwh	352,816	343,900	242,874	68.8%
液化石油ガス使用量	m ³	925.9	745	919.8	99.3%
灯油使用量	L	2,996.9	3,660	4,771.9	159.2%
ガソリン・軽油使用量	L	47,382.8	40,990	43,850.07	92.5%
一般廃棄物排出量	t	0.817	1.56	1.036	126.8%
コピー用紙使用量	kg	1,966	1,740	1,626	82.7%
水使用量	m ³	559	538	591	105.7%
環境配慮商品の販売	台	27,124	37,690	28,147	103.8%
グリーン購入品 18品	品目数	18	18	18	100.0%

使用した北海道電力の二酸化炭素排出係数：0.688kg-CO2/kWh(平成24年度)

化学物質使用量の削減につきましては、

当社の製品は屋外設置のため塗膜に対候性などの堅牢性を厳しく要求されています。

そのため塗膜を薄くしたり、堅牢性の弱い水系塗料を使用することは困難です。

但し、当社の品質要求に適合出来る水系塗料の開発動向は注視していきます。

9. 取組評価と次年度取組

取組項目	評価	次年度取組
電力使用量の削減	31.2%削減 ・前期製造部で新商品の開発テストで69,000kw使用したがそれを考慮しても前期比88.4%と大幅改善出来た。 ・消灯・温度等かなり改善したが、換気扇のつけっぱなしが目立つ	前年比1%削減 242,874kwh⇒240450kwh ・換気扇消し忘れ防止徹底
ガス使用量の削減	0.7%減 ・製造部で塗装増はあったが、暖房管理が徹底出来削減	919.8 m ² ⇒920 m ² 事務所増築のため横ばい計画
灯油使用量の削減	13.5%増 ・本社は人員増で12%増 ・製造部は生産量増のため15.3%増	前年比1%削減 4771.9L⇒4,720L ・生産量は少し増加見込 ・本社の灯油削減2%
ガソリン・軽油使用量の削減	前期比7.5%削減、計画比107% ・車運転者の意識向上 タイヤの空気圧チェックや アイドリング中止徹底改善	前期比1%削減 43,850L⇒43,400L ・急発進等をしない ・燃費の悪い人に注意勧告
一般廃棄物排出量の削減	26.8%増 ・書庫整理で紙の排出が増	前期比3%削減 1.036t⇒1t
水道使用量の削減	5.7%増加 ・本社のみ人員増で増	前期比100%の横ばい590m ³ ・人員増予定のため
コピー用紙使用量の削減	17.3%減 ・裏紙コピーは徹底されている ・設計やり直し資料が減	前期比1%の削減 1.626t⇒1.6t 5,400枚削減 ・会議資料の削減強化
環境配慮商品の販売	3.8%増 ・フードが10.4%増 1,023	前期比5%増 ・フード +1,400台
グリーン購入 品目増加	目標達成 ・事務用品は完了	前期比100% ・現状使用物はエコ製品100%になった

10. 環境活動の取組内容

二酸化炭素排出量の削減

環境目標	取組内容	実施詳細
電力使用量	照明の節電 冷暖房の節電 その他節電	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない場所の消灯 ・使用していない場所の停止 ・温度設定 冬 23℃ 夏 26℃ ・18:00 にスイッチ off 設定 ・クールビズ・ウオームビズ ・コピー・FAX・パソコン節電設定 ・トイレ便座の蓋を閉める ・3ヶ月毎にエアコンフィルター清掃
ガソリン使用量	エコ運転・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車時のアイドリングストップ ・車両点検表 点検整備実施 ・タイヤ空気圧点検 偶数月 ・オイル交換 5,000km ・車入替時にエコカーに変更する

その他

環境目標	取組内容	実施詳細
一般廃棄物の削減	ゴミの分別 資源使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃・不燃・ペットボトル・缶分別 ・コピー用紙裏面使用 ・会議資料 裏紙・両面コピー ・図面・見積はメールでやりとりする ・マイ箸の推進(割り箸購入しない) ・エコキャップ、缶リングの収集
産業廃棄物のリサイクル	適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物管理表で適正管理 ・リサイクル業者に依頼する
水使用量の削減	節水意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・水をだしたままにしない
エコ商品の拡大		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光架台・防雪フードの販売拡大
環境配慮商品購入	エコラベル、グリーン購入法適合品	<ul style="list-style-type: none"> ・市販事務用品は全て実施
環境活動の告知		<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動報告書の HP に掲載 ・会社案内に記載
社会貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃(週 1 回) ・工事現場周辺の清掃

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反、訴訟等はありませんでした。 また、関係当局より違反の指摘はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直し

53期(2016年10月～2017年9月)環境活動計画について

- ・ 2016年度 目標達成5項目・未達成5項目 未達成項目の対策強化をする。
- ・ グリーン購入品の事務用品はエコ商品になったため継続とし、目標設定から削除。
- ・ 他の項目は継続し、1%削減に努める。
- ・ 人員増のためガス使用量・水使用量は横ばいとする。
- ・ 環境配慮商品の販売は2016年比5%増とする。

発行日 2016年10月21日